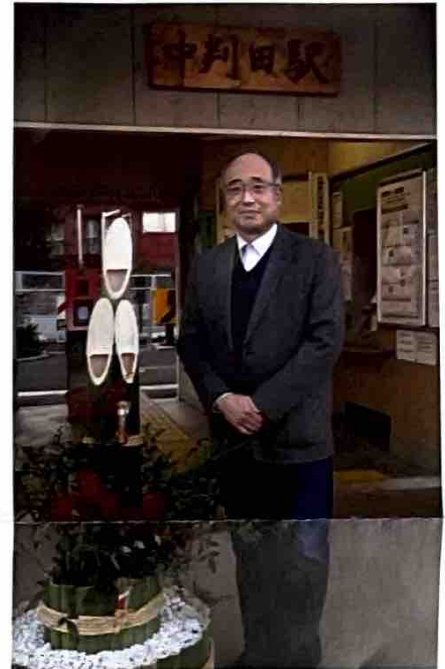


甲斐たかゆきの議会だより「えがお」号外・2023年1月発行

明けまして

おめでとうございます

市議会議員となり6回目の新年を迎えることとなりました。本年もどうぞみなさまの声をお聞かせください。よろしく願い致します。今後とも、みなさまの「笑顔」につながる活動を継続していきます。引き続きの「コロナ禍」ではありますが、さまざまな現場や地域の声を聞き、現状の改善はもちろんのこと、未来を見据えた提案などにつながるように、これからも一歩ずつみなさんと歩んでいきます。



「平和な日常を」と今まで以上に声をあげなければならない状況に憤りを感じています。ロシアによるウクライナへの侵略がいまだに続いています。日本周辺も含めて世界のあちこちで「日常」を揺るがしかねない事態が懸念されています。しかしながら、どんな理由を語ろうとも決して「武力を行使する」ことは許されることではありません。さらに、このような情勢に乗じて不安を煽り、「敵基地攻撃能力の保有」を正当化しようとする動きを止めなくてはなりません。**戦争は最大の人権侵害です。**今こそこの思いのもとに集い、ともに声をあげていきましょう。

日本は「憲法9条」というすばらしい憲法を持っています。憲法前文にも記された平和主義の理念のもとに、日本政府は主体的な外交を展開すべきだと考えます。「武力」ではなく、「外交努力」こそが、戦争を止める・戦争を起こさせない大きな「力」です。ウクライナの現状を考えると、ひとたび起こってしまった戦争は簡単には終わりません。だからこそ、戦争を引き起こさないために「不断の努力」が必要です。その努力の一端が「外交」であり、私たちの「平和への願い」なのではないでしょうか。多くの方々には直接的にはどうすることもできないもどかしさを感じていると思いますが、決してそんなことはありません。現状に少しでも関心を持ち、今、政府が押し進めようとしている防衛のあり方がこれでいいのか、予算の優先順位は、暮らしや教育、子どもたちの未来につながる政策にあてるべきではないのかなど、それぞれが自分や家族の立場で考え、声に出し、思いを語り合うことが、まず自分たちにできる行動です。

私自身も「子どもたちをまんやかに」においてこれからも訴え続けます。未来ある子どもたちに平和な世界をつないでいけるように、笑顔あふれる日々となるように、ねばり強く取り組んでいきます。今後ともみなさんのさまざまな思いや声をお寄せ下さい。

NO WAR 世界中の人々に平和な日常を！

甲斐たかゆき・連絡先 (判田台南在住)

090-4991-6412

FAX 番号は 097-597-6889

ご意見・ご要望等はこちらでも。

☆1月発行の「えがお24号」に掲載できなかった市政の情報を一部書き出します。

台風14号など災害復旧事業

河川敷運動広場(高田運動広場など)8箇所、のつはる天空広場のり面、農林水産施設(農地・林道・漁港施設)など合計191箇所、道路155箇所及び河川70箇所、公園施設(田ノ浦ビーチなど)84箇所、衛生施設(丸山墓地など)2箇所、社会教育施設(大友氏遺跡など)12箇所。のつはる自然の家については、落雷により被災した電源設備の復旧。

〔甲斐の思い〕復旧完了までに時間がかかるものもありますが、確実な事業の進捗に向けて注視していきます。防災・減災対策には継続した国からの予算増額が必要です。

こちらは、一般質問した内容です。

〔病児保育事業について〕 子育て世帯&子どもたちの笑顔のために！

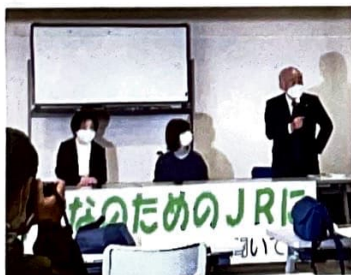
病児保育事業における「あずかるこちゃん」(※注)導入によるICT化と広域化の成果及び病児保育施設の安定した継続に向けて、大分市の見解を問いました。

(※注)「あずかるこちゃん」=病児保育予約システム、2021年10月より活用中。

◎子どもすこやか部部長答弁(一部抜粋・要約)

病児保育事業のICT化によりパソコンやスマホから施設の空き情報を24時間確認でき、予約・キャンセルのオンライン申請が可能となったことと、広域化により居住地以外の施設も利用可能となったことで、利用者においては利便性の向上、事業者においては経営の安定化等につながったと考えている。安定的な事業運営を図るため、令和3年度は利用児童数の変動によらない基本分の単価を約200万円引き上げるなどした。大分市病児保育事業事務連絡会議で経営状態などを直接聞き取る中で、事業継続に向けて課題の把握に努める。

〔甲斐の思い〕2018年の質問で、施設の拡充策とともに保護者からの声として要望していた内容が、ほぼ含まれた予約システムである「あずかるこちゃん」を2021年から導入。導入から1年余り。「コロナ禍」の中でも今後とも安定した事業継続が図られることを願い質問しました。事務連絡会議で出された課題や要望を把握し、解決等に向け訴えていきます。ICT化と広域化において成果をあげている現システムの更なる向上対策も調査研究していきます。



昨年12月、JR津久見駅で悲しい事故が起きました。その事実も踏まえながら、今後とも「JR駅無人化反対訴訟」に賛同し支援していきます。この訴訟が「誰もが安心して利用できる駅」とともに考える契機となるように、私自身もあらゆる場で訴えていきます。画像は12/28裁判傍聴後の報告集会の様子です。

これまで連帯していた平岩純子県議が3月の任期満了をもって5期20年間の県議としての活動を勇退されます。私が市議になってこれまでの6年間、さまざまなご助言等を頂き活動することができました。改めて感謝申し上げます。

右画像の「みらいをともに」のみたらいともひろさんを全力で応援しています。

